

## 一須賀古墳群(南河内郡河南町)

ここは近つ飛鳥博物館/安藤忠雄の設計/この辺り一帯が「近つ飛鳥風土記の丘」となっており、そこに一須賀古墳群が存在する



右手を見たところ/正面中央がI-7号墳で、右手の橋の下がI-5号墳/右手に説明板がある



正面中央の橋の下がI-5号墳



いちすか  
国指定史跡 一須賀古墳群

5号墳と7号墳はI支群の南寄りに位置する古墳です。いずれも横穴式石室を持つ古墳ですが、天井石は失われて、石室の底部だけが残されています。

右側の5号墳は、6世紀中ごろの築造と考えられ、土器や鉄鏃が出土しています。現地に保存するため、園路を橋にしました。

左側の7号墳は、6世紀後半の築造と考えられ、4基の木棺が埋葬されていました。耳環や鉄製品、土器が出土しています。



しぐん  
I支群 5号墳・7号墳



調査中のI-5号墳



I-5号墳出土鉄鏃と刀子

I-5号墳

これがI-5号墳/横穴式石室をもつ円墳/6世紀中ごろの築造



天井石は失われて、石室の底部だけが残されている



I-7号墳

これは左手のI-7号墳/横穴式石室をもつ円墳/6世紀後半の築造



やはり天井石は失われて、石室の底部だけが残されている



さて、I支群の南側のここからJ支群が展開する



国指定史跡 <sup>いちすか</sup> 一須賀古墳群 <sup>しぐん</sup> J支群

J支群は一須賀古墳群の中央部、博物館へのびる尾根上に分布する支群です。15基の古墳が確認されています。墳丘はいずれも直径10m前後の円墳と考えられ、埋葬施設はすべて横穴式石室です。5基の古墳で石棺が確認されています。

7号墳と8号墳のところでは、石室を真上から見学できるように、遊歩道に橋をかけています。



目の前の高まりはI支群の円墳で、階段を右手の方向へ登って行くとJ支群のエリア/時間が無く見学できず



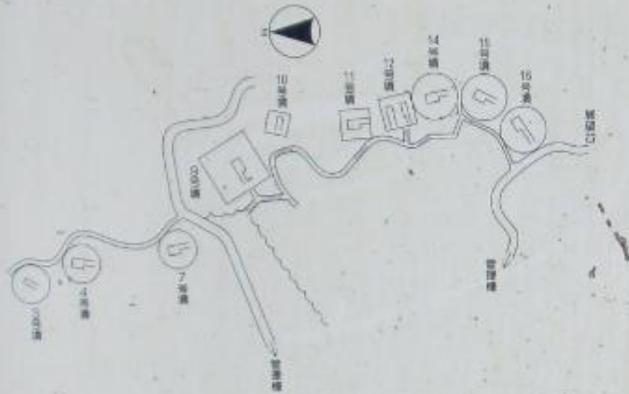
さて、今度はB支群へ行ってみる



階段を登った前方がB支群の9号墳



## B 支 群



支群全体で18基の古墳があり、このうち内容のわかるのは10基です。尾根の上に一列に並んでいますが、地形や古墳の形から三つのグループに分けられます。各グループとも6世紀の中頃につくられ始め、だんだん古墳の数が増えたことがわかっています。

古墳には1つの石室があります(12号墳だけ2つ)。それぞれの石室には棺をおいた痕跡が1つ~4つありました。ほとんど木の棺ですが、4基の石室では最初の1つだけが石の棺でした。その材料は凝灰岩という二上山付近でとれる石です。石の棺に葬られた人は社会的にとくに重要な人だったことがうかがえます。

古墳の大きさ 円墳の直径 各1.2~1.5m

方墳の一辺 各1.2m(9号墳だけ2.5m)

石室の奥行 5.3~8.5m

副 葬 品 (死者と共に納められたもの)

- ・おもに食器とイヤリング
- ・10基のうち5基から米を煮す道具のミニチュア(これの多いのが須賀古墳群の特徴)
- ・2基から鉄の矢じり(14・15号墳)
- ・1基から馬に付ける金具(15号墳)

平成2年3月

大阪府教育委員会

円墳のグループ	方墳のグループ	円墳のグループ	
7	11 10	14 15	6世紀 中頃
4 3	9		6世紀 後葉
	12-1 12-2	16	6世紀 末葉

各グループと古墳を築造した時期(緑色は石の棺が納められた古墳)

B-9号墳

ここがB支群の9号墳/方墳/6世紀末の築造





## B9号墳と石棺

この横穴式石室には かつてこのよ  
うな家型石棺と組合せ式の木棺が  
おかれていたようです なおこの  
石棺は6世紀末の形式で竜山石を  
使用して復元したものです

天井は破壊されている/石室の奥に石棺が見える



これが6世紀末の形式で復元された家型石棺



これもB支群の古墳







B-16号墳

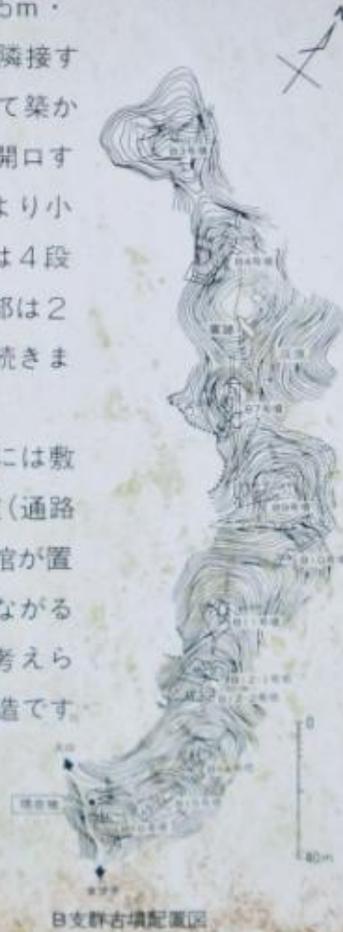
この高まりはB-16号墳/円墳/6世紀後半の築造



## B-16号墳

このB-16号墳は、径15m・高さ3mを測る円墳で、隣接するB-14・15号墳に続いて築かれます。石室は南西に開口する右片袖式で、15号墳より小さい石材を用いた側壁は4段に積まれています。袖部は2段積みで細長い羨道に続きます。

玄室（奥室部）げんしつ床面には敷石が施され玄室2、せんどう羨道（通路部）2の計4箇所せんとくに木棺が置かれていた。血縁につながる人々が順次葬られたと考えられます。6世紀後半の築造です。



日支群古墳配置図

反対側から見たところ





右片袖式の横穴式石室



玄室床面には敷石が施されている



## 近つ飛鳥風土記の丘

わが国を代表する群集墳、一須賀古墳群の中心部分、29haを史跡公園にしたのが、この「近つ飛鳥風土記の丘」です。園内には、6世紀中頃から7世紀前半に築かれた102基もの古墳があります。それらは10数基づつくらいが一つのグループを作って、丘陵の尾根ごとに分布しています。それを支群とよびますが、そのうちB・D・E・J支群を見学できるように整備しました。

古墳のほとんどは、横穴式石室を人工の盛土で覆った直径10数メートル、高さ3～4mの円墳で、一部方墳も見られます。埴輪・葺石・周溝など、墳丘の装飾的な要素は認められません。花崗岩で造られた横穴式石室は、幅が狭くて天井の低い羨道と、その奥の高くて広い玄室とで構成されています。玄室には遺骸を納めた石棺や木棺が3～4体分、置かれていたようですが、腐ってしまったり、後世に破壊されたりして、元の姿を留めているものはありません。

石室に埋葬された人びとには、金メッキをほどこした耳輪や勾玉・ガラス小玉などのアクセサリ、鉄刀・鉄鎧（矢じり）などの武器、轡をはじめとした馬具、須恵器・土師器の杯・高杯・甕・壺・器台、ミニチュアの壺・甕・甗などが添えられていました。これらの品々は、古墳の年代を教えてくれるとともに、当時の技術や文化の水準、人びとの考え方や行動様式などを知る手がかりにもなるのです。なお、群集墳は古墳の数が多ことから、豪族の下にあって成長してきた有力な家族層のものだと考えられています。

園内では最大級の石室をもったD4号墳や、6世紀末頃の形式の家形石棺を復元したB9号墳をはじめ、たくさんの横穴式石室に親しむことができます。また、2ヶ所の展望台からは古市古墳群や王陵の谷が、天気によければ遠くに徳陵古墳なども見ることが出来ます。また近つ飛鳥博物館には、一須賀古墳群の出土品をはじめ、古墳時代についての詳しい展示があります。



さて、ここにはI支群の19号墳と20号墳及び寛弘寺45号墳が移築されている



### 3基の移築古墳

#### 1-19・20号墳

左の2基の古墳は、近つ飛鳥博物館の駐車場建設に際して発見されたものです。墳丘や横穴式石室の上部が削られていた直径10mほどの円墳で、1基の木棺が納められていたようです。左側の20号墳からは銀の指輪やガラス玉、鉄製の馬具の一部、右側の19号墳からは銀のかんざしやミニチュアの竈・甕、ほかに須恵器・土師器・鉄釘などが両方にありました。ともに6世紀中頃に造られたもので、風土記の丘の多くの横穴式石室と比べると、小型の石材を使っているのが特徴です。

#### 寛弘寺45号墳

ここから南西約3kmのところにあった河南町寛弘寺古墳群から移築した横穴式石室です。天井石はすでに盗まれていましたが、側壁や奥壁などは、よく残っていました。石室の全長は9.7mで、平滑に仕上げた花崗岩の大型石材を積んだ巨石墳です。石材やその積み方から、7世紀前半に築造されたと思われませんが、この時期では、わが国で最大級の横穴式石室です。また石室の周囲には排水溝がめぐるといふ、珍しい構造をもっていました。

反対から見たところ



I-20号墳

左手から見てみよう/これはI-20号墳/横穴式石室をもつ円墳/6世紀中頃の築造



I-19号墳

これはI-19号墳/横穴式石室をもつ円墳/6世紀中頃の築造



寛弘寺45号墳

右手が寛弘寺古墳群から移築された寛弘寺45号墳



横穴式石室をもつ円墳/7世紀前半の築造







## 参考ホームページ

[http://www.chikatsu-asuka.jp/static/pdf/fudoki/fuudoki\\_map.pdf#search='%E8%BF%91%E3%81%A4%E9%A3%9B%E9%B3%A5%E9%A2%A8%E5%9C%9F%E8%A8%98%E3%81%AE%E4%B8%98'](http://www.chikatsu-asuka.jp/static/pdf/fudoki/fuudoki_map.pdf#search='%E8%BF%91%E3%81%A4%E9%A3%9B%E9%B3%A5%E9%A2%A8%E5%9C%9F%E8%A8%98%E3%81%AE%E4%B8%98')

<http://www5c.biglobe.ne.jp/~izanami/coramu1/kofun.html>

<http://guide.travel.co.jp/article/10979/>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%80%E9%A0%88%E8%B3%80%E5%8F%A4%E5%A2%B3%E7%BE%A4>

<http://inoues.net/ruins/ichisuka.html>

<http://www.bell.jp/pancho/travel/kawati-asuka/ichisuka.htm>

<http://www.geocities.co.jp/SilkRoad-Lake/4702/itisuga.html>

